

【校長室便り】

No.38

H30年12月21日(金) 土佐町小中学校 谷内宣夫



何のために勉強するのか? 第3弾



わたし たにうち かんが の
私 (谷内) なるの 考えを述べます。

せいせき じゆけん しゅうしよく かねもう
成績 (テストの点数) を上げるため、受験のため、就職のため、金儲けのためと思
てませんか？

りそう たしや さ こじん じんせい かがや
私が考える学問の理想は、他者に差をつけるためのものではなく、個人の人生を輝かせるた

めのものであると考えています。知識の範囲や幅・深さを広げ、人生の「楽しみ」や「生き

がい」「愛」「感動」等を気持ちよく増やすためのものでなければならぬと考えています。

たとえば教科の中で考えてみます。簡単に言います。



・「保健体育」

スポーツ (運動) を通じて身体を鍛え、強靱な精神力を養

う。勇気、決断力、判断力、持続力、工夫する心、臨機応変

な対応力を育てるのである。将来スポーツを通してライフ

スタイルを豊かにできるものです。体の仕組みを知ってより

健康な生活を送ることができるようにするためのものです。

・「音楽や美術」



美しいものを美しいと感じる心、「すごい」と感動する心を

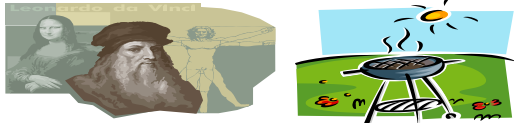
養い、新しい価値を創造していく力 (表現力・感性の

発達) を身につけるためです。身につけておけば将来、豊

かな人生を送ることができやすいものです。もちろん昔の文

化遺産の価値も受け止め、未来に残していこうとする態度も

養うものです。



・「技術や家庭科」

生活していくうえで必要となる知識や技能を習得し、より

よい生活を送ることができるようにするためのものです。

知っていれば後々役に立つ便利な知識や技能です。



・「国語」

国語の目的は、豊かな会話を楽しめるようにするために

す。人間社会は言葉によって成り立っています。



豊富なボキャブラリーや、気のきいた言い回しなど、会話の

レベルや質が高ければ高いほど、楽しむことが多くなるし深

くなります。夢、理想、芸術、文化や政治について語り合い、

自分の意見をはっきりと言え、能力があれば、人生の喜び

は多くなるし味わい深いものになります。しゃれたウイットに

と富んだジョークをタイムリーに放てる人は、それなりの友人

に恵まれます。素晴らしい「恋」がしたければ、相手の心を

揺さぶる「口説き文句」も用意しなければなりません。だから

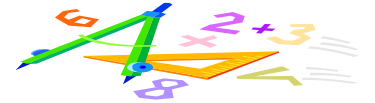
ら、学校では「読み書き」だけでなく、どんどんしゃべって

「表現力」を鍛えなければならぬのです。他人との「コ

ミュニケーション能力」が育成されているからこそ、相手の

気持ちもわかるし、相手の身になって考え、思いやりの態度

をとることができるのです。



・「外国語」

国語と同じで、他国の人々と「会話」ができれば、精神的

にも物理的にも「個」の世界が広がる。外国の人をその人の

国の言葉をあやつり会話を楽しむことができるようになるこ

とを想像してみてください。楽しいでしょう。



・「算数」「数学」

公式を暗記して、難しい計算を解くのが目的ではない。そう

した訓練によって、「論理的な考え方」と「合理的な判断力」

(どうやったらうまくいくのか) を身につけるためである。

ある問題にぶつかったとき、どういうものを使って正確に早

く解決することができるのか段取りよく考え、取り組めるよ

うになるための訓練です。思考回路が整然としていれば、今

後人生の岐路に立ったときバランスの良い判断のもと、より

良い選択ができるようになるのです。



・「理科」

自然の摂理 (良い方向に導く考え) と法則を学ぶのである。

学んだ知識を生活に役立てることが出来ることでより豊か

な生活を送れるようにするためのものです。



・「社会」

この世の中の仕組みと過去からの流れを学び、未来への展望を

考え、より良い社会を創造するものです。



歴史の年号や公式、元素記号等をただ暗記するだけでは学問をしたことにはなりま

せん。学んだことから何を導き出せるかが本当の「学問」であると思います。自然の摂理や、

世の中の仕組みを、自分自身のこと(頭、肉体、心)と結びつけて、より豊かな生活

が送れるようにするためのものであり、自分にとってよりよい結果をもたらせるようにしてい

くことが大切なことであると考えます。土佐町小中学校の皆さんには、「学ぶ目

的」を理解し、これからも学問(勉強)に励んで欲しいと思います。

「教わるばかりの人間(受け身)になるのではなく、「自ら学ぶ人間(積極的)」になって欲しい。と願っています。

